

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			東京都指定により、教室の広さは児童1名に対し4㎡と定められています。当事業所は87㎡あり、基準は満たしております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員数は、児童10名に対し職員2名が基準として定められています。当事業所は、安全面等を考慮して加配を有しております。専門性についても、全職員有資格者となっております
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		出入口口に小さな段差はありますが教室内には段差はありません。トイレと手洗い場は少し手狭になっております。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎朝ミーティングを行い、来所児童の情報共有を行っています。月に1度は姉妹教室との全体ミーティングを行い連携をとっています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に1度保護者の方に事業所評価をしていただいています。保護者からの意見をもとに改善に向けて対応させていただきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者向け評価表と事業所向け評価表の結果を集計してホームページ上で公開させていただきます。公開後はお便りにてお知らせ致します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		姉妹教室の職員等から意見を頂き、改善点を把握し日々の業務へ反映しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			「虐待防止」「強度行動障害」「防災研修」を中心に、必要に応じた研修に参加しています。事業所内で内部研修も定期的に行い、職員の資質の向上に努めています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画の見直しを6か月に1回、あるいは児童の成長に応じて行っています。職員間での話し合いと合わせて、児童との面談や保護者からも意見をうかがい作成をしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約時また、年度が変わる毎にアセスメントシートの見直しを実施しています。社会性・情緒、行動面、学習面の把握に努めています。また、必要に応じて詳細など追加記載を行い、より児童の様子が詳しくわかるようにしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティング時や療育後に話し合いを行っています。児童の能力・課題に合わせた療育を立案し、活動内容が似通った物にならないよう臨機応変に対応しております。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		集団活動やプログラミング、作品発表など様々な活動の日を設定しています。また児童の様子に合わせて新しい活動を取り入れています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇時にはイベントを含めたプログラムを立案し様々な経験ができるように工夫しています。また現在新型コロナウイルス感染予防の観点から、分散通所や時間短縮を行っています。その為、短い時間の中でもより学びに繋がるよう職員間で話し合い、きめ細かい療育を考えています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		集団活動の内容を中心とした個別支援計画を作成していますが、その日の子どもの様子に応じ個別で対応をしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝職員間でミーティングを行い、一日の行動を確認しています。また前日の児童の振り返りや、保護者からの相談等も職員間で共有をし療育に繋げています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		当日振り返りを行い、保護者からの連絡等はその日のうちに共有します。療育についてはそれぞれの職員からの視点を共有することで気付きにつなげ、次回の療育に取り入れています。振り返りが難しい際には、翌日の職員ミーティング時に共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		各児童の一日の様子・サービス提供内容・全体の活動日誌の記載を行っています。支援に関する記録を行う中で、その日の支援を振り返り、改善点を出しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に1回、もしくは児童の成長に合わせてモニタリングを行っています。ご家庭での様子、教室での様子から児童の成長に関して保護者と職員からの意見をすり合わせています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		定期的にガイドラインを読みなおし、日々の療育に繋げています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が対応しています。あるいは、指導員や専門職員が参加することもあります。	
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		基本的に学校との連絡・調整は保護者を通して行っております。学校の行事予定など、月間のスケジュールが記載されているものをコピーさせていただき共有など必要に応じた対応を行っています。 送迎に関しては、遅れ等が出た場合は直接学校と連絡をとることがあります。	

関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。必要に応じて対応致します。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		姉妹教室である児童発達支援事業所との連携を図り、情報共有と相互理解に努めています。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		現在対象児童は通所しておりませんが、今後必要に応じて関係機関と連携を図ります。今後も放デイを卒業する児童への支援の在り方を模索していきます。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		相談支援事業所や子ども家庭支援センター等の関係機関と連携し、相互の情報共有や助言を受けています。また研修等にも参加をしています。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点からイベント等を中止致しました。今後感染状況に改善が見られれば地域の方々や小学校等に案内を掲示し、交流の場を設けたいと思います。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○		区が開催しているネットワーク会議への参加をしています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		現在新型コロナウイルス感染予防の観点からフィードバックは引き渡し時、手短にお話しています。自主通所をしている児童も多い為、お電話で様子等をお伝えすることもあります。又、保護者からのご相談、ご不安事に対して、随時相談支援の対応をとっています。
保護者への説明責任等	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		電話等でのフィードバックの際に、児童との関わり方について都度お伝えするようにしています。個別支援計画書を活用し、ご家庭と事業所で共通した支援が行えるよう努めています。
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や問い合わせ時に説明を行っています。また、変更があった際には随時別紙にて対応しています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から相談を受けた際、事前に日時を決め、相談室を使用して対応しています。また児童発達支援管理責任者だけでなく、保護者のニーズに合った職員が対応しています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度はコロナウイルス感染拡大の観点から、保護者会については大規模会場にて開催しました。引き続き、感染対策に留意しながら開催を検討していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情相談窓口を設けており、重要事項説明書内に記載済みです。申し入れがあった際には、職員間で共有し、話し合った上で適切な対応を行っています。保護者からの申し入れがあった際には、予定を調整し相談室を使用し対応します。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動の様子やお知らせをお便りにして発行しています。また、教室のホームページも定期的に更新し情報発信をしています。新型コロナウイルス感染予防の観点から、児童の様子をお伝えできる機会が減っているため、ホームページやSNS等を定期的に更新し、児童の様子をお伝えさせていただいています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が記載されている書類については、鍵付き書庫にて管理を徹底しています。契約の際に同意をいただく緊急時の医師への情報提供、他事業所との照会、事故発生時の情報提供以外の外部への流失はありません。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者とも情報共有を図り、児童一人ひとりに応じた円滑なコミュニケーションが図れるよう努めています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域住民や関係機関との交流は中止しています。感染状況の改善が見られれば地域の方との交流の場を設けていきたいと思っております。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定し教室に保管しています。災害時等には「マチコミ」を利用した伝達方法を取らせていただきますので、利用登録をお願いしております。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難経路を教室内に掲示するとともに、定期的な避難訓練を実施しています。不審者・地震・火事等様々な設定で実施しています。年に2回以上は災害を想定し訓練を実施しています。今年はVR映像で地震を体感することも行い、災害に対するイメージをより持てるよう訓練致しました。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員を選定し、研修を行っています。社内研修だけでなく社外研修にも積極的に参加、受講し各自自己研鑽に努めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在やむを得ず、身体拘束を必要とする児童が在籍していないため、個別支援計画書への記載は行っていません。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書ではなく、保護者からの指示によって対応しています。食物アレルギーの児童に対して契約の際、保護者の同意を得て事業所ではおやつを提供せず持参したおやつを食べています。イベント等でおやつ提供を行う場合は、都度保護者へのアレルギーの再確認を徹底しています。

	④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが起こった際には、事の詳細と再発防止のための対策を記録しており、教室内のフィードバックを徹底すると共に再発防止のための対策を共有し、改善に努めています。また、ミーティングを通して職員が危機管理の共通認識をもてるよう図っています。
--	---	----------------------------	---	--	--